

## 【予想問題（必須科目）】

### I. 温暖化対策

#### 1. 過去出題実績

- (1) 平成17年2月に発効した京都議定書を踏まえ、建設分野がとるべき地球温暖化対策について、あなたの意見を述べよ。(H17)
- (2) 地球温暖化や廃棄物処理等の環境問題に国民の関心が高まりつつある中で、建設分野がとるべき方策について、あなたの意見を述べよ。(H14)
- (3) 循環型社会の構築に向けた社会資本整備のあり方について、あなたの意見を述べよ。(H12)

#### 2. H20予想問題

- (1) 地球温暖化の進行が我が国の自然環境や生活環境などに与える影響について概説するとともに、建設部門がとるべき対応策について述べよ。
- (2) 我が国が京都議定書で合意した目標と現状との乖離について説明するとともに、今後対応すべき対策について建設技術者としての考えを述べよ。
- (3) 京都メカニズムについて知るところを述べるとともに、国内への適用方法を探り、あなたが考えるメカニズムについて記述せよ。
- (4) 地球温暖化対策については、温室効果ガスを削減する直接対策（以下「緩和策」という）を実施しても気温の上昇をストップさせることはできない。従って、温暖化によって発生する悪影響を低減する方策（以下「適応策」という）も必要になる。今後の温暖化等の気候変動については、緩和策と適応策の両方が必要となってくるが、あなたが考える適応策のあり方について自然災害防止および生態系の保全の2つの観点で整理して述べよ。

### II. 災害対策

#### 1. 過去出題実績

- (1) 巨大地震の発生が懸念される中で、地震防災対策の現状と課題について述べるとともに、今後のあり方についてあなたの意見を述べよ。(H16)
- (2) 災害に強い国づくりのための社会資本整備のあり方について、あなたの意見を述べよ。(H17)

#### 2. H20予想問題

- (1) 近年発生した大型地震（大地震、巨大地震）での社会資本の被害状況について整理するとともに、その結果を踏まえた対応策について記述せよ。
- (2) 想定される大地震について、ソフト、ハードの両面から対策を述べよ。  
なお、ソフト面とは危機管理システムおよび防災体制などを示す。また、ハード面は、建設部門に関する道路をはじめとする社会資本を示す。
- (3) 阪神淡路大震災および新潟県中越地震等での被害を受けて推進されている防災対策の現状について述べるとともに、今後実施すべき方策について技術士（建設部門）の立場で記述せよ。
- (4) あなたの専門分野における巨大地震対策について、記述せよ。  
なお、専門分野とは、選択科目のみに限らず、経験業務や担当業務すべてをいう。